

東照宮

—なぜこの地が選ばれたのか—

今池小学校6年 石川晴仁

動機

ぼくは歴史が好きです。地元が家康ゆかりの地だと知っていたので、いつか日光東照宮にいきたいと思っていました。そして去年行くことができ、実際に建物を見たら、想像していたよりごうかですらびやかでした。日光で感動したので愛知県にも東照宮があるのか、調べてみることにしました。

方法

・本で調べる ・現地調査 ・歴史博物館の学芸員さんに聞く

東照宮とは

江戸幕府初代将軍徳川家康を神格化し『東照大権現』としてまつる神社。家康がせくなり幕府の命により久能山、翌年に日光に東照社を創建した。3代将軍徳川家光の奏請により正保2年(1645)後光天皇の宣下のもと、日光東照社から日光東照宮となった。家光が大名に造宮を勧めたり、徳川松平一門の大名が独時の東照宮を望んだため、昔は700社以上、現在でも100社以上ある。

家康の遺言

家康は数多くの遺言を残しているが、せくなる15日前に3人の家臣に遺命を伝えている。遺命を聞いた家臣の1人金地院崇伝の日記『本光国師日記』によると、
「遺体は駿河国の久能山に葬り、江戸の増上寺で葬儀を行い、三河の大樹寺には位牌を納め、一周忌が過ぎてから、下野の日光山に小堂を建てて勧請し、神として祀ること。そして八州の鎮守(日本全土の守り神)となろう」と記されている。

1616	4月7日	家康駿府で死去(享年75才) 久能山に埋葬
	4~5月	江戸の増上寺で葬儀
1617	2月	家康に東照大権現の神号宣下
	4月	久能山から日光へ改葬
1634~1636		家光が日光大改修
1645		後光天皇により東照社が東照宮へ 宮号宣下



『東照社奉授宮号太政官符』

後光明天皇より宮号が宣下され、東照大権現を祀る日光東照社は東照宮に格上げされた。

久能山東照宮
 七月十四日

久能山東照宮

静岡県静岡市駿河区
 竣工：元和3年(1617)12月



本堂



逆さ葵

家康の遺言により、久能山に葬ることになっていたため亡くなったその日中に遺体を久能山に移した。建物は、旧来の久能城をとりこわして、そこに造宮された。

なぜここに！東照宮

家康は岡崎で誕生し、今川家の人質として8才から19才、秀吉の天下統一期の45才〜49才、大將所として66才〜75才の3期、人生の3分の1を静岡の駿府で過ごした。久能山は駿府に近いことに加え、古来日本では東の方角が神聖視されていて家康にゆかりのある岡崎、鳳来山、駿府から東の方角にあったことなどが選ばれた理由ではないかとも言われている。



久能山の神廟。家康の遺命により西向きに建てられている。実際に調べてみたら本当に真西に向いていた。西に向けることで徳川に従わない勢力に不利を利かせるためだと言われている。

日光東照宮
 日光
 三月二十日

日光東照宮

栃木県日光市
 竣工：元和3年(1617)3月



陽明門



日光の神廟。久能山とにている。

家康の遺言により日光山に改葬することになっていたため、2代将軍徳川秀忠が霊廟を建て、翌年遺体を日光に移した。当時はシンプルな施設であり、現在の社殿の多くは3代将軍徳川家光が1634〜1636年の2年間をかけて建て替えたもの。

なぜここに！東照宮

選ばれた理由にはいくつかの説がある。

- ① 関東では古くから山岳信仰の霊場だったから。
- ② 家康が尊敬していた源頼朝が崇敬していたから。
- ③ 家康が信頼し、遺命を聞いた3人のうちの1人、南光坊天海が買主をしていたから。
- ④ 日光は関東と東北の境にあり、東北の押さえとして意義をもち、西からも遠く、要塞の地だったから。

などが指摘されている。

また、日光東照宮は、江戸城の真北にあり、宇宙の最高神と考えられた北極星から一直線上にあることから、己を日光にまつことで恒久平和を守ろうとしたとも言われている。



入口の石牌。新一万円札の渋沢栄一によって書かれた。

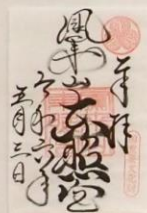


1本だけ葵紋が逆さになっている。

建物は完成と同時にほかにが台まると考えわざと未完成のままにした。

逆さ柱

～三河にある東照宮～



鳳来山東照宮

愛知県新城市
竣工：慶安4年(1651)9月



本殿



鳳来寺は薬師で、火事で焼失していたが、徳川家光がそれを再建すると同時に東照大権現の勧請を発願した。

なぜここに？東照宮

3代将軍家光が東照社縁起を日光を社参中に見て、感動し、当時、火事で焼けてしまっていた鳳来寺を造りなおすと同時に、そこに東照宮も建てるように命じた。しかし完成したのは4代将軍徳川家綱の時代となった。

東照社縁起とは

日光東照宮に納められている家康の生涯の主要場面などが書かれた絵巻。その中に、家康の両親松平広忠とお大の方が鳳来に参籠し子授けを祈願したところ不思議な夢を見て、母お大の方がいい任した。そして1542年12月26日に徳川家康が誕生した、という内容がある。



東照宮拝殿までの石段
1425段。
傾斜がきつ、片道1時間
かかった。



参道の途中に
ある傘杉。
樹齢800年。



鳳来寺から
の景色。
つかれがふ
さよぶ絶景。

〈感想〉

久能山と日光と比較すると、こじんまりとしていたが建物はどらりとしていて、いげんが感じられた。本堂までの1425段の階段はのぼるのがとても大変だったが、とちゅう

にある日本名木百選の傘すぎは立派で神聖な感じがしたし、東照宮からの景色もきれいだ。江戸時代の人々も、ぼくたちと同じように登っていたと想像すると、歴史を感じることができた。
個人的には一番好きなおすすめ散策スポット。



滝山東照宮

愛知県岡崎市滝町
竣工：正保3年(1646)8月7日



本殿



岡崎市の滝山寺本堂の1段上に建立された東照宮。建物は極彩色の東照宮様式で建てられている。

なぜここに？東照宮

岡崎が家康誕生の地のため、家光が岡崎の大榊持に東照宮を建てろと命令した。そして土地点検のために家臣がつかわされた。しかし岡崎に来た家臣たちは、滝山という地は家康の古跡で岡崎城の北東にある鬼門の方角にあるということで霊地とされていたことを知った。このことを家臣たちから聞いた家光は、けっきょく大榊寺には東照宮は建てず、滝山にある滝山寺という寺の中に東照宮を造営し、東照大権現を勧請するように命じた。



左：工事前の拝殿
右：現在拝殿は工事中だった。
令和7年5月に完成予定。

<感想>

実際に行ってみたら、それほど山おくには建っていなかったが少しす暗く、人が少なく神秘的なふんい気だった。
残念なこと、行ったときは保存修理の工事で近づくことができなかったが、本殿を横から見ることができた。さぼは小さいが久能山ににいてかわいい造りで赤いかべに黒いかわらがこよかった。

なぜ家光は積極的に東照宮を造営したのか

家光は幼少期に病気になる。家康が調合した薬を飲み快復したという。また、家康が亡くなってからも、家光が病にたおれると夢に東照大権現が現れ、その後すぐに本復したと伝わっている。

家光は日光東照宮を改修し、鳳来山東照宮、滝山東照宮を造営した。角い時期には700以上という東照宮が幕府を中心に造営されたのは、家光が家康に並々ならぬ恩義を感じ、神となつた家康を尊敬し、広く信仰したからだろう。



松平東照宮

愛知県豊田市松平町
勧請：元和5年(1619)



拝殿



お話しをうかがった
ねぎの方

家康の初祖とされている松平太郎左衛門親氏は松平郷に館をもっていた。家康が亡くなると、元和5年(1619)九代目松平太郎左衛門は松平氏および松平郷の氏神であった八幡宮に久能山から東照宮を勧請した。

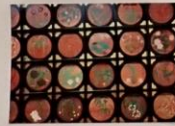
なぜここに？ 東照宮～ねぎの方に聞きました～
松平郷は家康とゆかりがあった。松平東照宮には「産湯の井戸」がある。
この井戸は松平の男子が誕生すると産湯として用いていた。
家康が生まれたときも、井戸水を竹筒に入れ、岡崎城まで早馬でとどけたと伝わっている。



産湯の井戸

拝殿の天井画

家康が亡くなってから400年がたった2015年に徳川家康公400年祭が行われた。記念事業として、108枚の天井画が作成された。争いのない平和な社会を目指した松平親氏の願いがこめられている。たった5色で、四季折々の草花を表したそうです。

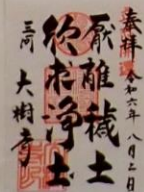


松平郷の草花をえがいた
絵は、色とりどりにかかれ
ていて美しかったです。



〈感想〉

東照宮といっても、幕府が直接造ったわけではなく、松平氏が独自に勧請してできたものだとわかった。日光のような華やかさはなく、外観はとても地味だったが、拝殿の天井画はごうかけんらんでとてもすばらしかった。
産湯の井戸は神事で使われるため、大切に管理されているとのこと。松平東照宮は地元の人達に大切にされているんだなと思った。



大樹寺

愛知県岡崎市
創建：文明7年(1475)



本堂

徳川家の祖、松平家代々のぼだい寺。桶狭間の戦いに破れた家康がここに逃げこみ、自害を決意したが、当時の住職の登誉上人がそれを止めたと伝わる。本堂の中には、15代慶喜以外の歴代将軍14人の等身大の位牌がある。家康の遺言どおりに大樹寺に位牌は置かれていた。



家康と、歴代
将軍の位牌



登誉上人像



大樹寺の総門を
通して岡崎城を望める

考察

今回調べた東照宮のうち家康の遺言により幕府が直接造ったものは久能山東照宮と日光東照宮、家光の指示により幕府が造ったものは鳳来山東照宮と滝山東照宮、大名によって造られたものは松平東照宮だった。

外観を見ると幕府が造った東照宮は大名が造ったものよりきらびやかできれいだった。これだけ立派な建物をたくさん造れたのは、当時の徳川幕府が相当な財力と権力を持っていたからだろう。同じ東照宮でも建てられた経緯は様々であることがわかった。

愛知県内にも複数東照宮があり、現地調査を行った。鳳来山東照宮は家康の両親が子授け祈願した所、滝山東照宮は家康が信仰した霊地、松平東照宮は家康の産湯がある所という家康との深いつながりを見つけることができた。

家康ゆかりの地に東照宮を建てることでその土地を聖地として位置付け、家康の神格化を一層進めることになったのかもしれない。

感想

今回観光地としても有名な日光東照宮、久能山東照宮に加え、愛知県内にある東照宮3か所を現地調査してみた。

愛知県の東照宮は知名度が低いためか、観光に来ている人も少なかった。

身近にも魅力的な東照宮があるということを広く知ってもらい、地元の東照宮におとずれる人がもっと増えるといいなと思った。

参考文献

- ・家康公と全国の東照宮
- ・家康の肖像と東照宮信仰
- ・日光東照宮と将軍社参